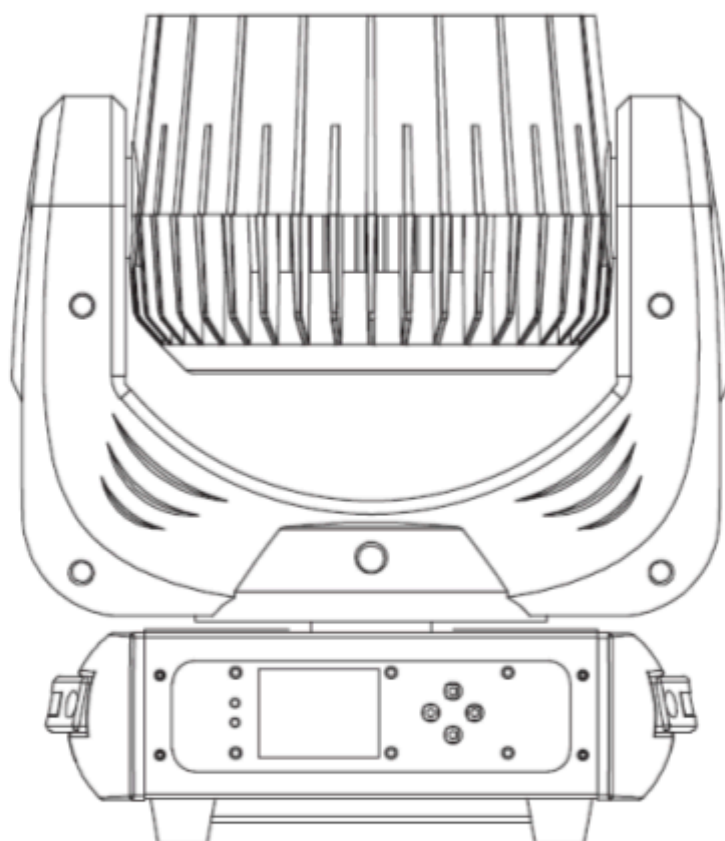


ELIMINATOR[®]

LIGHTING



STRYKER WASH

User Manual



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はELIMINATOR LIGHTING のSTRYKER WASH をご購入頂き、誠にありがとうございます。STRYKER WASH は12W RGBW 4-in-1 LEDを19個装備したウォッシュタイプのムービングヘッドです。本製品を、末永くご利用いただくため、ご使用いただく前に、この取扱い説明書をお読みください。

基本仕様

基本仕様

- ・ 19個の12W RGBW 4-in-1 LED
- ・ 高速かつ、精密なパン & チルト動作
- ・ 3ゾーンDMX制御モード
- ・ プライマリ/セカンダリのスタンドアロンモード
- ・ モーターライズドズーム: 6° ~ 50°
- ・ リニアCT DMXコントロールチャンネル: 3200K~10000K
- ・ 最大18回/秒のストロボフラッシュ
- ・ IP20

付属品

- ・ 電源ケーブル x 1
- ・ オメガブラケット x 1

安全上の注意



アースの接続を確実に行ってください。



本製品を分解して、修理や改造をおこなわないでください。



屋内で使用し、雨や湿気にさらさないでください。

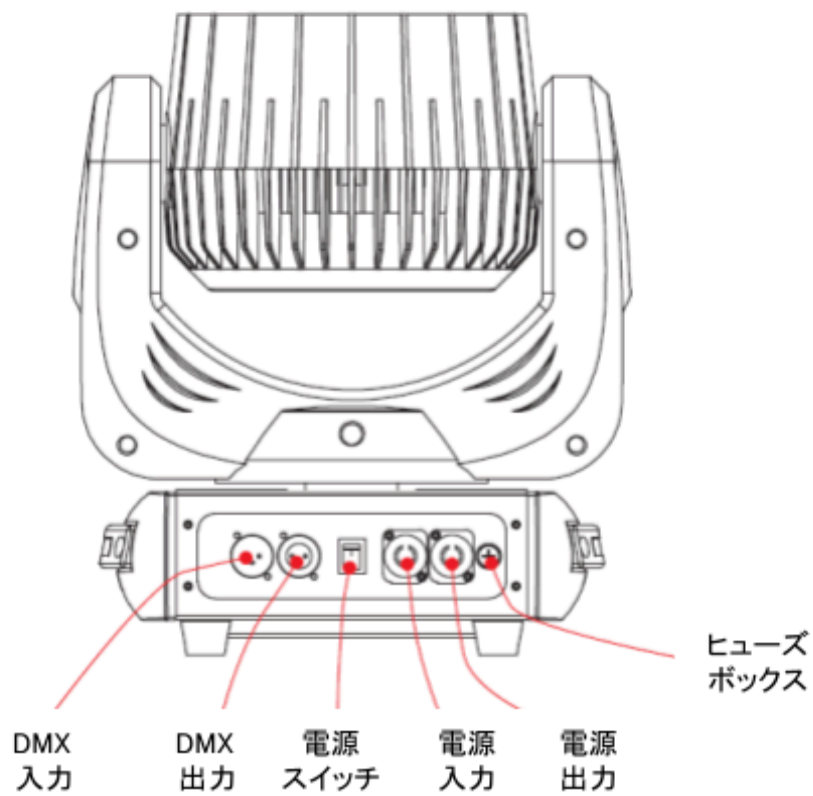
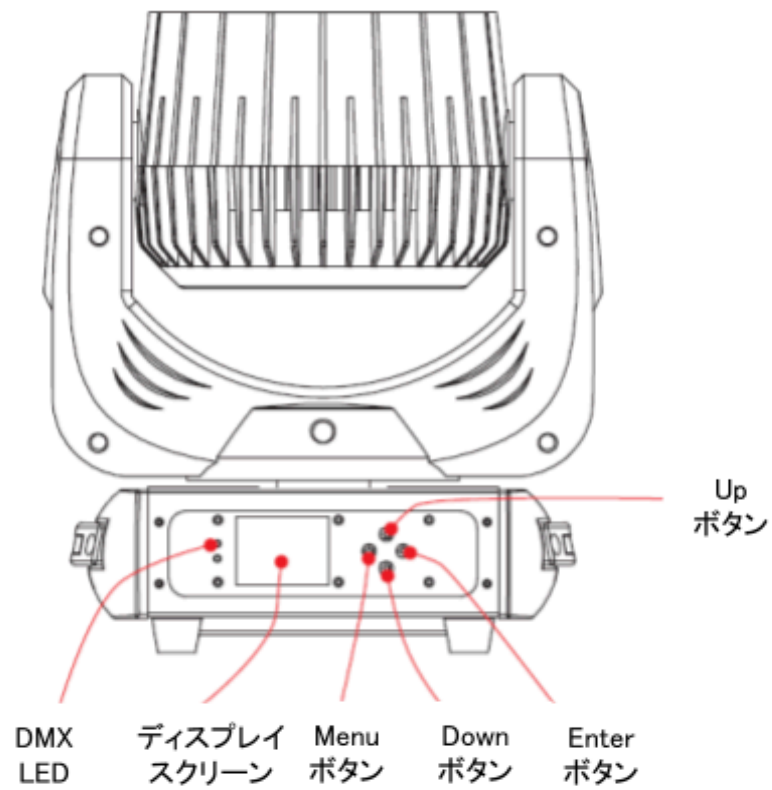


光源を直接みないでください。網膜損傷、てんかん発作を引き起こすリスクがあります。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。
3. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
4. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
5. 本製品を他の機材と接続する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
7. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
8. ディマーパックからの電源供給は行わないでください。
9. 本体カバーを外さないでください。
10. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
11. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
12. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
13. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
14. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
15. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
16. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
17. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
18. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

故障が生じた場合は販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

各部の名称



設置について



器具の取付、設置、移動、撤収は専門家がおこなってください。

設置に関する注意事項:

- 取付作業は、地域の電気工事および建築に関する法令、規則、および規格に準拠して行ってください。
- 器具を取り付けるトラスや設置面は、器具本体とアクセサリの重量の10倍に耐えられる強度が必要です。変形しないことを確認してください。
- 器具には、適切な定格の安全ワイヤーなどの二次的な安全装置を必ず取り付けてください。
- 金属製のトラスや構造物に単一の器具を取り付ける、または器具を任意の表面に設置する前に、必ず専門の設備業者に相談して、金属製のトラスや構造物、または設置面が、器具、クランプ、ケーブル、およびアクセサリの総重量に安全に耐えられるように適切に認定されているかどうかを確認してください。

使用環境:

- 使用環境の最高周囲温度は40℃です。
- 器具は、通路、座席エリア、または許可されていない者が手などで器具に届く可能性のある場所から離して設置してください。

取扱いに関する注意事項:

- 器具の吊り上げ、取り外し、または保守点検を行う際は、絶対に器具の真下に立たないでください。
- 上部への器具取り付けには、常に二次的な安全装置（適切な定格の安全ワイヤーなど）で固定してください。

設置要件:

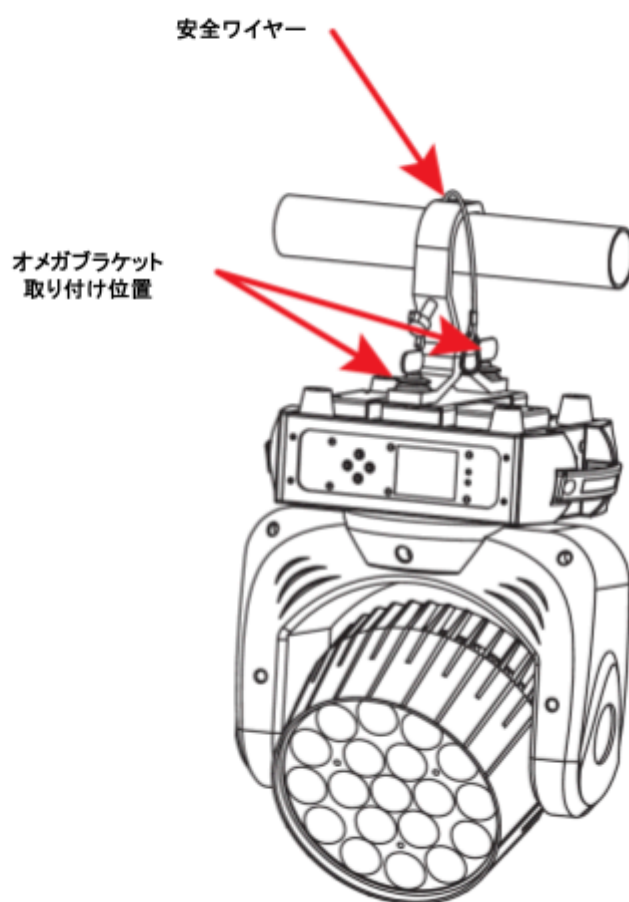
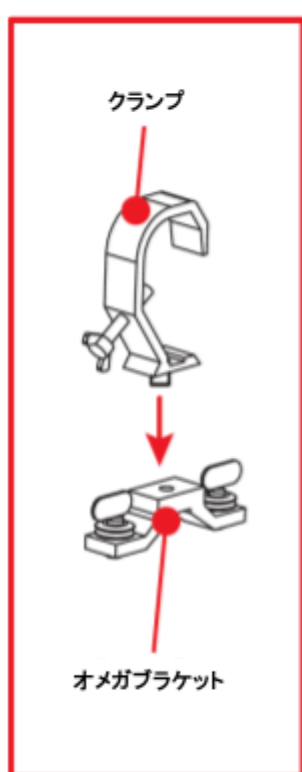
- 取り付けには、荷重限界の計算、使用する取り付け材料の知識、およびすべての取り付け材料と器具自体の定期的な安全点検を含む、広範な経験が必要です。これらの資格がない場合は、自分で取り付けを試みないでください。

定期点検:

- 設置後、年に1回は、専門家による点検をおこなってください。

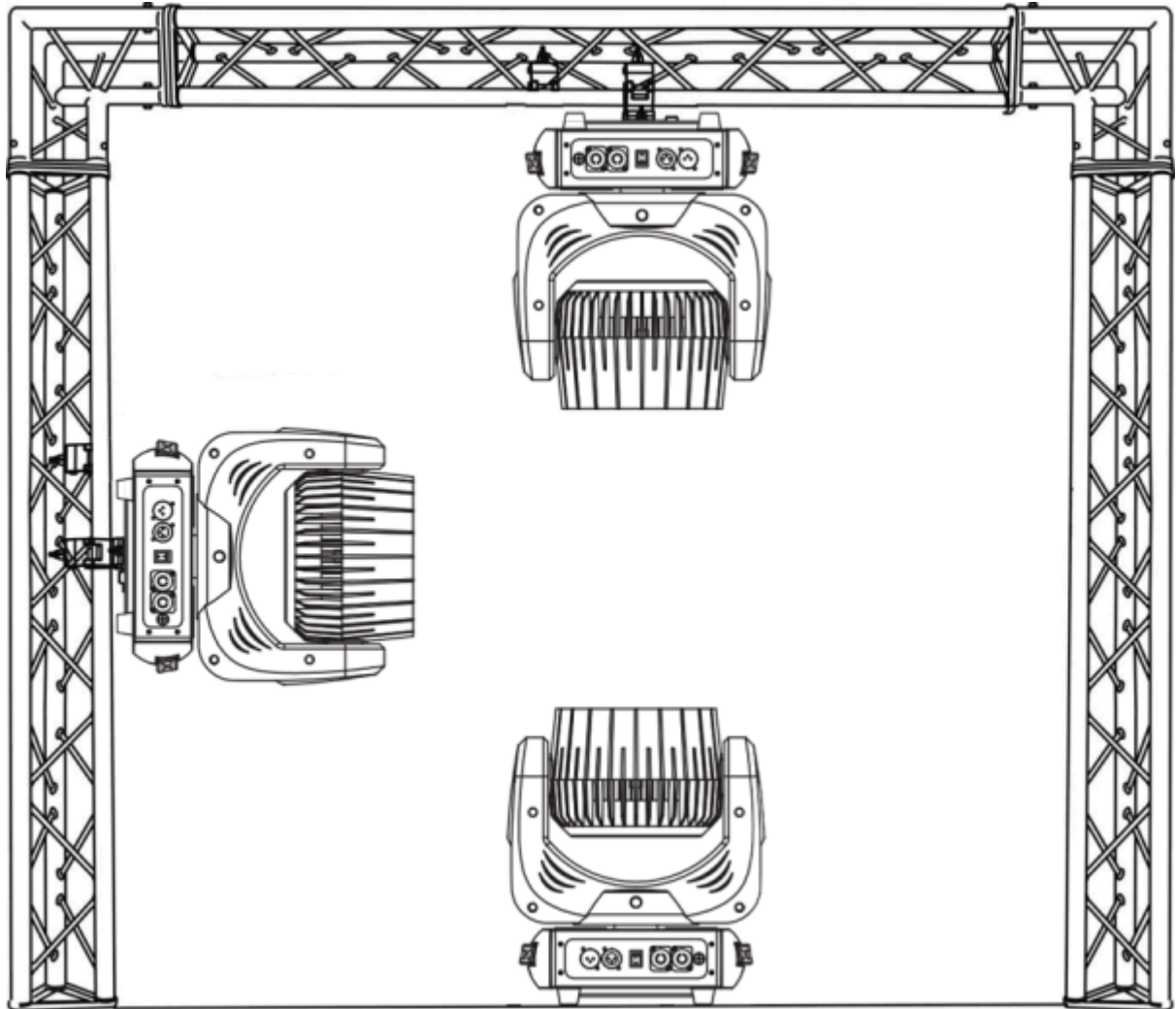
クランプの取り付け

本製品には、オメガブラケットを取り付けるための取り付け穴がベースの下側に設けられています。このユニットをトラスに取り付けるには、適切なサイズのナットとボルトを使用してオメガブラケットにクランプを取り付けます。次に、オメガブラケットのツイストロックファスナーを器具の下側にある取り付けレールの外側の穴に挿入し、回転させてクランプを所定の位置に固定します（以下の図を参照）。ブラケットの中央部分の取り付けポイントに、適切な定格の安全ワイヤーを取り付けてください。



高所に設置する際は、必ず安全ワイヤーを取り付けてください。クランプが故障した際に器具が落下することを防止します。

天井やトラスから逆さまに吊り下げる、トラスに横向きに取り付ける、平らな水平な面に設置する、など、3つの異なる取り付け位置で使用することができます。この器具は、可燃性物質(装飾品など)から少なくとも12m(40フィート)離して保管してください。クランプが故障した場合に機器の損傷や怪我を防止するために、安全対策として必ず安全ケーブル(別売)を使用してください。



落下すると器具の損傷や重大な怪我を引き起こす可能性があります。設置や点検は必ず専門家が行ってください。

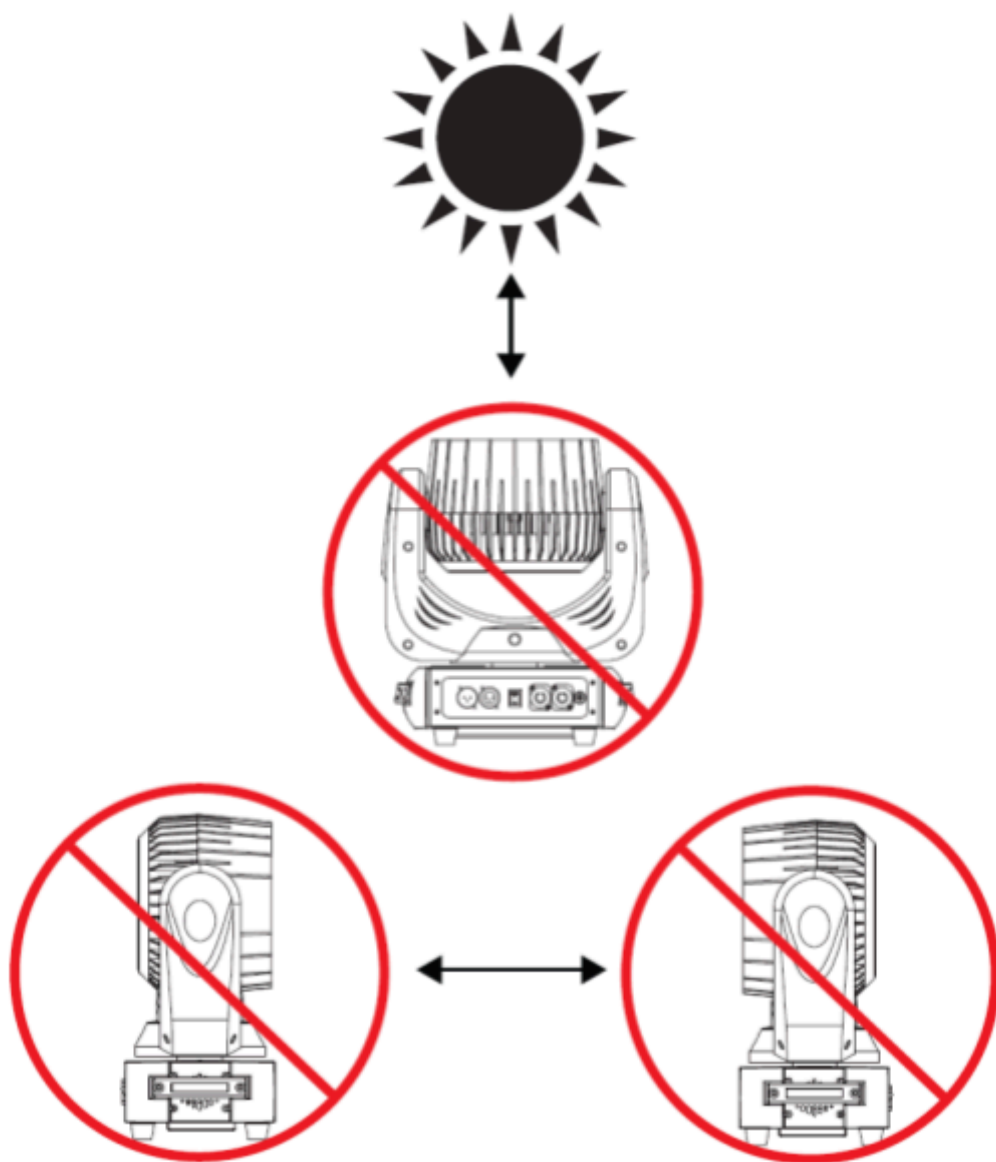


高所に設置する際は、取り付け器具が外れても照明器具が落下しないように、安全ケーブルを必ず取り付けてください。

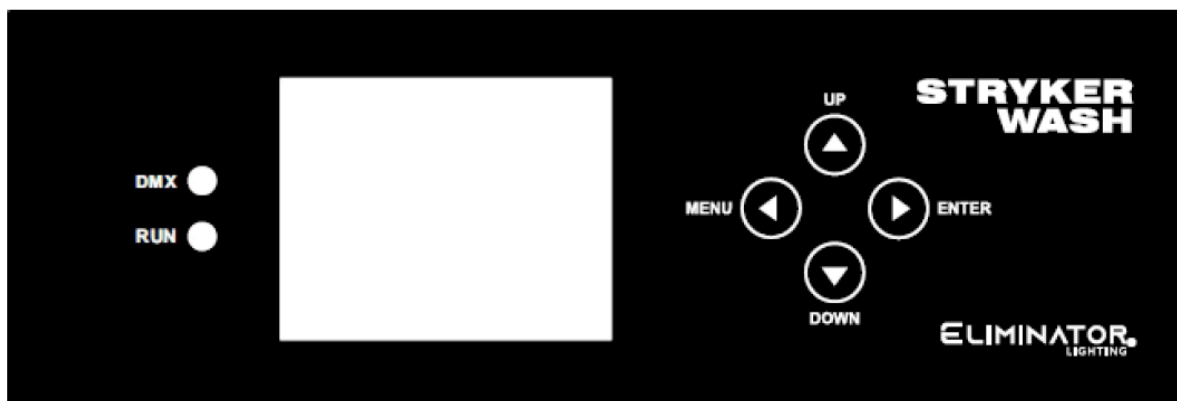
外部光源について

外部からの光線（直射日光、照明、ムービングヘッドフィクスチャー、レーザーなど）が、本製品の外装に直接向けられたり、フロントレンズの開口部を通じて内部に侵入したりすると、光学部品、ダイクロイックカラーフィルター、ガラスや金属製のゴボ、プリズム、アニメーションホイール、フロストフィルター、アイリス、シャッター、モーター、ベルト、配線、放電ランプ、LEDなどに深刻な内部損傷（焼損など）を引き起こす可能性があります。この問題を完全に防ぐ方法は存在しませんが、以下の点に注意することで潜在的な損傷のリスクを軽減することができます。

開梱や設置、使用中、または屋外で長時間使用しない場合、照明器具やフロントレンズの開口部を直射日光や他の照明器具、ムービングヘッド、レーザーの光線に当てないでください。また、1つの照明器具から出る光を別の照明器具に直接向けないようにしてください。



コントロールパネル



MENUボタンを押すと、メインメニューの項目が順番に切り替わります。画面に選択したいメインメニューの項目が表示されたら、ENTERボタンを押してサブメニューに進みます。その後、UPボタンとDOWNボタンを使ってサブメニューの項目をスクロールできます。場合によっては、さらに別のサブメニューが表示され、その場合も同様に操作できます。

システムメニュー

DMX SETTINGS	Address	001 – 512		DMX スタートアドレス	
	Mode	13 Ch		DMX チャンネルモード	
		23 Ch			
	No DMX	Hold		DMX信号が途切れた際、最後に受信した設定を保持	
		Auto		DMX信号が途切れた際、Autoモードで動作	
		Sound		DMX信号が途切れた際、サウンドモードで動作	
PERSONALITY	Pan Invert	Yes / No		Pan 反転	
	Tilt Invert	Yes / No		Tilt 反転	
	P/T Correction	On / Off		ヘッドが手動で位置から外れた場合、パン/チルトをもとの位置に戻す	
	Display Reverse	Yes / No		ディスプレイ表示反転	
	Display Intensity	001 – 010		ディスプレイの明るさ調整	
	Sound Sensitivity	000 – 100	Default = 080	サウンドアクティブ感度設定	
	Reset	Yes / No		フィクスチャーの電源をオフにした後オンにし、現在の設定を保持	
	Factory Restore	Yes / No		工場出荷時の設定に戻す	
	Home Position Password = 018	Pan	000 – 255		各パラメーターのHOME値を設定
		Tilt	000 – 255		
		Red	000 – 255		
		Green	000 – 255		
		Blue	000 – 255		
White		000 – 255			
Zoom		000 – 255			
RUN MODE	Auto	Auto Mode 1		オートプログラムの設定	
		Auto Mode 2			
		Auto Mode 3			
		Auto Mode 4			
		Auto Mode 5			
		Auto Mode 6			
		Auto Mode 7			
		Auto Mode 8			

	Sound		サウンドモードに設定
	Primary Auto	Auto Mode 1	選択したプログラムを再生するプライマリユニットに設定
		Auto Mode 2	
		Auto Mode 3	
		Auto Mode 4	
		Auto Mode 5	
		Auto Mode 6	
		Auto Mode 7	
		Auto Mode 8	
	Primary Sound		サウンドモードで動作するプライマリユニットに設定
	Secondary		セカンダリユニットに設定
MANUAL MODE	Pan	000 – 255	マニュアルセッティング
	Tilt	000 – 255	
	Zoom	000 – 255	
	Red	000 – 255	
	Green	000 – 255	
	Blue	000 – 255	
	White	000 – 255	
	Linear Color Temp	000 – 255	
	Ring Macros	000 – 255	
	Strobe	000 – 255	
	Dimmer	000 – 255	
	Pan/Tilt Speed	000 – 255	
	Special	000 – 255	
SYS INFO	On Time	xxH xxM	H = hours, M = mins 電源投入時からの稼働時間
	Total Time	xxxxxH xxM	H = hours, M = mins 総稼働時間
	Version	Vx.xxx	ソフトウェアバージョン
	Running Mode	DMX xx Ch	選択されているDMXチャンネルモードを表示
	Address	xxx	選択されているDMXスタートアドレスを表示
	Temperature	xxx ° F	温度表示

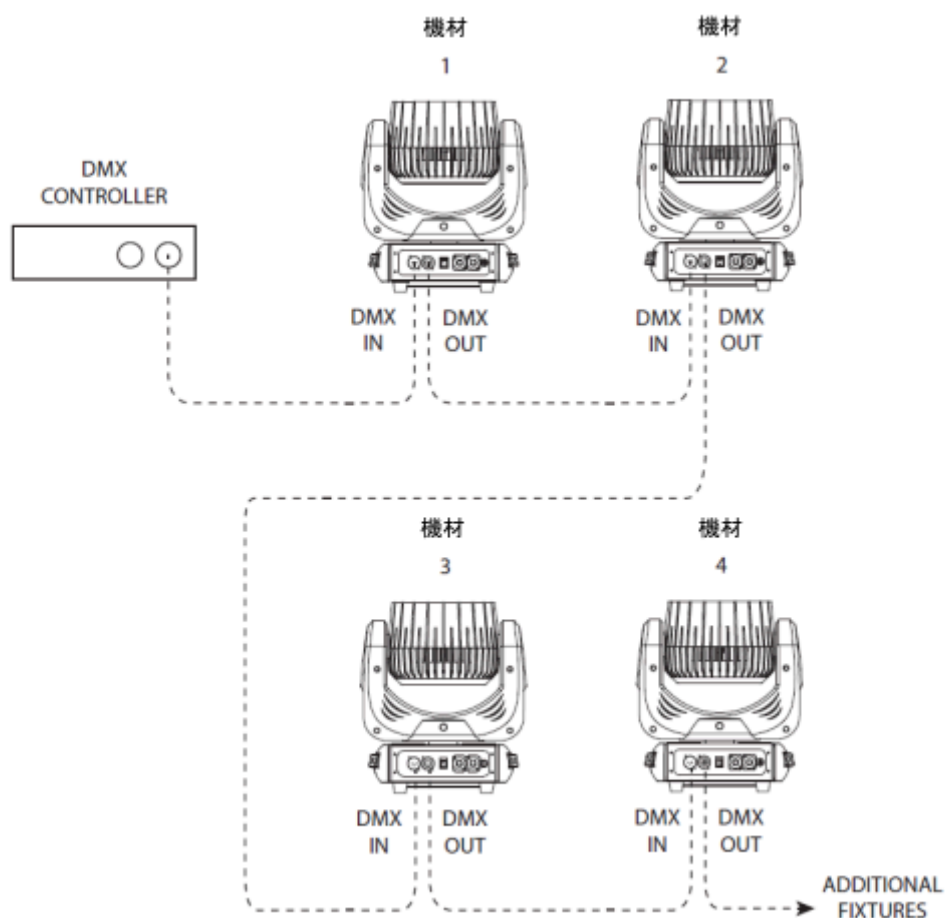
DMXセットアップ

DMX-512について

DMXは「Digital Multiplex」の略称です。これは、インテリジェントな照明機器とコントローラー間の通信に使用されるプロトコルです。DMXコントローラーは、コントローラーから機器へDMXデータを送信します。DMXデータは、すべてのDMX対応機器に搭載されている「DATA IN」および「DATA OUT」のXLR端子を介して機器間をシリアルデータとして伝送されます。

DMXリンクについて

DMXは異なるメーカーのさまざまな機種を1つのコントローラーに接続し、操作できるようにする通信プロトコルです。すべての機器およびコントローラーがDMXに対応している限り、リンクが可能です。DMXデータを正しく送信するためには、複数のDMX機器を接続する際、ケーブルの長さをできるだけ短くすることをお勧めします。DMXライン内で機器が接続される順序は、DMXアドレス設定に影響を与えません。たとえば、DMXアドレスが1に設定された機器は、DMXラインのどこに配置されても構いません。先頭でも末尾でも、または途中のどこにあっても、問題ありません。DMXアドレスが1に設定された機器がある場合、DMXコントローラーはDMXライン内のどこに機器があっても、アドレス1に割り当てられたデータをその機器に送信します。

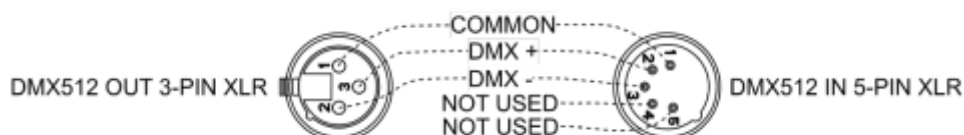


データケーブル(DMXケーブル)の要件(DMX操作)

本製品はDMX-512プロトコルで制御可能な、2つのDMXモードを備えています。詳細は本マニュアルの「DMX特性」セクションをご参照ください。DMXアドレスは、機器背面パネルのコントロールを使用して設定できます。この機器とDMXコントローラーには、データ入出力用の3ピンXLRコネクタが必要です。ケーブルは標準の110～120オームのシールドケーブルを使用してください。ケーブルには、片方にオスのXLRコネクタ、もう片方にメスのXLRコネクタを取り付ける必要があります。また、DMXケーブルはデジチェーンで接続します。

注意:

ケーブルを作成する際は、以下の図を参照してください。XLRコネクタのグランドラグを使用しないでください。また、ケーブルのシールド導体をグランドラグに接続したり、シールド導体がXLRコネクタの外装に接触したりしないようにしてください。シールドを接地すると、短絡や不安定な動作の原因となる可能性があります。



ライン終端について

ケーブルの配線が長くなる場合は、最後の機器に終端器(ターミネーター)を使用してください。終端器をデジチェーンの最後の機器のメスXLRコネクタに接続してラインを終端することにより、不安定な動作が発生する可能性を低減します。



DMX512ターミネーターについて

DMX512ターミネーターは信号の反射による干渉を防ぎエラーを減少させる役割を果たします。DMX512ラインを終端するには、最後の機器のピン2(DMX-)とピン3(DMX+)を、120オーム、1/4ワットの抵抗を直列に接続してください。

DMXアドレス設定について

DMXコントローラーを使用する際、各機器にはDMXスタートアドレスを設定する必要があります。これにより、正しい機器が正しい制御信号に応答ようになります。このデジタルスタートアドレスは、DMXコントローラーから送信されるデジタル制御信号を機器が「受信」し始めるチャンネル番号を意味します。スタートアドレスは、機器のデジタルコントロールディスプレイで正しいDMXアドレスを設定することで割り当てられます。

アドレス設定のオプション:

- **同じスタートアドレスを設定:** すべての機器または機器グループに同じスタートアドレスを設定すると、すべての機器が同じように動作します。つまり、1つのチャンネル設定を変更すると、すべての機器が同時にその変更に従います。
- **異なるスタートアドレスを設定:** 各機器に異なるDMXアドレスを設定すると、それぞれの機器が設定されたチャンネル番号から信号を受信し始めます。この場合、1つのチャンネル設定を変更しても、影響を受けるのは選択された機器のみです。

例:

この機器が**13チャンネルモード**で設定されている場合、次のようにDMXスタートアドレスを設定します:

- 1台目の機器: スタートアドレスを**1**に設定
- 2台目の機器: スタートアドレスを**14**($1 + 13$)に設定
- 3台目の機器: スタートアドレスを**27**($1 + 13 + 13$)に設定
- 4台目の機器: スタートアドレスを**40**($1 + 13 + 13 + 13$)に設定

この方式を繰り返すことで、各機器が正しいチャンネル番号から信号を受信するように設定できます。

CHANNEL MODE	UNIT 1 ADDRESS	UNIT 2 ADDRESS	UNIT 3 ADDRESS	UNIT 4 ADDRESS
13 Ch	1	14	27	40
23 Ch	1	24	47	70

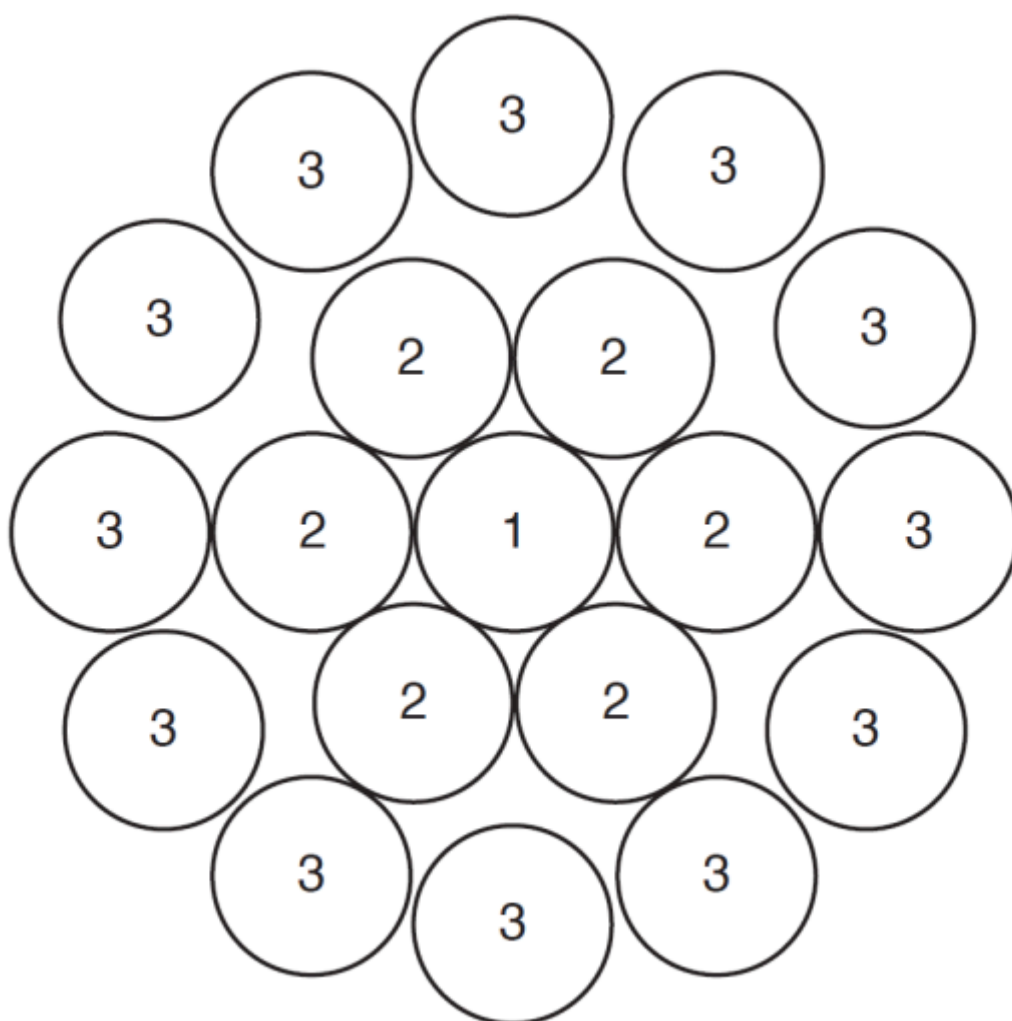
DMX特性

チャンネルモード		DMX 値	機能
13Ch	23Ch		
1	1	000 – 255	<i>Pan, 0 – 540</i>
	2	000 – 255	<i>Pan Fine</i>
2	3	000 – 255	<i>Tilt, 0 – 210</i>
	4	000 – 255	<i>Tilt Fine</i>
3		000 – 255	全 赤, 0 – 100%
4		000 – 255	全 緑, 0 – 100%
5		000 – 255	全 青, 0 – 100%
6		000 – 255	全 白, 0 – 100%
	5	000 – 255	赤 1, 0 – 100%
	6	000 – 255	緑 1, 0 – 100%
	7	000 – 255	青 1, 0 – 100%
	8	000 – 255	白 1, 0 – 100%
	9	000 – 255	赤 2, 0 – 100%
	10	000 – 255	緑 2, 0 – 100%
	11	000 – 255	青 2, 0 – 100%
	12	000 – 255	白 2, 0 – 100%
	13	000 – 255	赤 3, 0 – 100%
	14	000 – 255	緑 3, 0 – 100%
	15	000 – 255	青 3, 0 – 100%
	16	000 – 255	白 3, 0 – 100%
7	17		色温度
		000 – 009	機能なし
		010 – 255	3200K to 10000K
8	18		<i>Ring Macros</i>
		000 – 007	機能なし
		008 – 012	Static 1
		013 – 017	Static 2
		018 – 022	Static 3
		023 – 027	Static 4

		028 – 032	Static 5
		033 – 037	Static 6
		038 – 042	Static 7
		043 – 047	Static 8
		048 – 052	Static 9
		053 – 057	Static 10
		058 – 062	Static 11
		063 – 067	Static 12
		068 – 072	Static 13
		073 – 077	Static 14
		078 – 082	Static 15
		083 – 087	Static 16
		088 – 092	Static 17
		093 – 097	Static 18
		098 – 102	Static 19
		103 – 107	Static 20
		108 – 112	Static 21
		113 – 117	Static 22
		118 – 122	Static 23
		123 – 181	Color Jump, slow to fast
		182 – 240	Color Fade, slow to fast
		241 – 255	Sound Auto Play
9	19		シャッター
		000 – 009	クローズ
		010 – 250	ストロボエフェクト, 遅 → 速
		251 – 255	オープン
10	20	000 – 255	調光, 0 – 100%
11	21	000 – 255	Zoom, minimum to maximum
12	22	000 – 255	Pan/Tilt スピード, 速 → 遅
13	23		Special Functions
		000 – 010	No Function
		011 – 020	XY オートラン 1
		021 – 030	XY オートラン 2

		031 - 040	XY オートラン 3
		041 - 050	XY オートラン 4
		051 - 060	XY オートラン 5
		061 - 070	XY オートラン 6
		071 - 080	XY オートラン 7
		081 - 090	XY オートラン 8
		091 - 230	サウンド XY オートラン
		231 - 240	Reset after 3 seconds
		241 - 255	機能なし

PIXEL グループング



プライマリ・セカンダリモード

プライマリ・セカンダリ設定機能について

この機能を使用すると、機器をリンクして**プライマリ・セカンダリ構成**で動作させることができます。この構成では、1台の機器が制御用(プライマリ)として機能し、他の機器はその制御機器の内蔵プログラムに従って動作します。

- **プライマリ(Primary):**
制御を担当する機器。プログラムを実行し、他の機器に信号を送ります。
- **セカンダリ(Secondary):**
プライマリ機器に同期して動作する機器。独自の動作は行わず、プライマリ機器の信号に従います。

注意事項

- 任意の機器をプライマリまたはセカンダリとして設定できます。
- ただし、1つのシステム内で**プライマリとして動作できるのは1台のみ**です。複数の機器をプライマリに設定すると、動作が不安定になる可能性がありますので注意してください。

この設定を使用することで、複数の機器を簡単に連動させ、統一された演出効果を実現できます。

接続と設定方法

以下の手順に従って、機器をデ이지チェーン接続し、プライマリ・セカンダリ構成を設定します。

1. デ이지チェーン接続

- 各機器の背面にある**XLRコネクタ**を使用して、データケーブルで機器を接続します。
- **最初の機器(プライマリ):** メスXLRコネクタのみ使用します。
- **最後の機器:** オスXLRコネクタのみ使用します。

2. システムメニューで設定

- 各機器のシステムメニューで、**Personality > Pri/Sec Mode** に移動し、**ENTER**を押します。

3. プライマリ・セカンダリの設定

- **UP**および**DOWN**ボタンを使用して各機器をプライマリまたはセカンダリとして設定します。

注意: 1つのシステム内でプライマリとして設定できるのは**1台のみ**です。他のすべての機器はセカンダリーに設定してください。

4. プライマリ機器の設定

- プライマリ機器に戻り、必要なプログラムや設定を行います。
- セカンダリ機器は、プライマリ機器のプログラムに同期して動作します。

この手順を実行することで、複数の機器が効率的に連動し、一貫したパフォーマンスを実現できます。

メンテナンスガイドライン



メンテナンスを行う際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

クリーニング

適切な機能や最適な光の出力を維持するために、定期的な清掃をお勧めします。清掃頻度は、照明器具が稼働する環境に依存します。湿気や煙、特に汚れた環境では、照明器具の光学部分に汚れが蓄積しやすくなります。外部レンズ表面は、柔らかい布で定期的に清掃し、汚れやゴミの蓄積を防いでください。

※ アルコール、溶剤、またはアンモニア系クリーナーは使用しないでください。

メンテナンス

適切な機能と長寿命を確保するために、定期的な点検をお勧めします。本製品にはユーザーが修理できる部品はありません。その他のサービスに関する問題は、製品をご購入頂いた販売店、または代理店にご相談ください。

定期点検時には以下の点を確認してください：

- A. 専門家による詳細な電気点検を3ヶ月ごとに行い、各回路接点が良好であり、過熱を防ぐことを確認してください。
- B. すべてのネジと締め具が常にしっかりと締められていることを確認してください。緩んだネジは通常の運転中に外れ、大きな部品が落下してけがや機材の損傷の原因となることがあります。
- C. 本体、カラーレンズ、取り付けハードウェア、取り付けポイント(天井、吊り下げ、トラシング)に変形がないかを確認してください。本体に変形があると、埃が照明器具内に入り込むことがあります。取り付けポイントが損傷していたり、固定が不十分であったりすると、照明器具が落下し、重傷を負う可能性があります。
- D. 電源ケーブルに損傷、素材の劣化、または汚れがないことを確認してください。また、絶対に電源ケーブルの接地ピンを取り外さないでください。

製品仕様

光源 (Light Source)

- ・ 19 x 12W RGBW (4-IN-1) LED

主な機能 (Features)

- ・ 高速で正確なパン・チルトの動き
- ・ 3ゾーンDMXコントロールモード
- ・ プライマリ・セカンダリ スタンドアロンモード
- ・ モーターライズドズーム: 6° ~ 50°
- ・ リニアCT DMXコントロールチャンネル: 3200K~10000K
- ・ 最大18回のストロボフラッシュ/秒

接続 (Connections)

- ・ DMXデータ入出力: 3ピンXLR
- ・ 電源接続: ロック機能付き入出力コネクション

コントロール (Control)

- ・ タッチボタン付きカラーLCDディスプレイ
- ・ 2つのDMXチャンネルモード: 13チャンネルおよび23チャンネル
- ・ プロトコル: DMX-512、オート、サウンドコントロールモード

パン/チルト (Pan/Tilt)

- ・ パン/チルト: 540度 / 210度
- ・ 16ビットFine パン / チルト

電気仕様 (Electrical)

- ・ AC100V 50/60Hz
- ・ 最大消費電力: 300W

寸法 & 重量 (Dimensions & Weight)

- ・ 寸法 (長さx幅x高さ): 222mm x 324mm x 399mm
- ・ 重量: 8.2kg

技術仕様 (Technical)

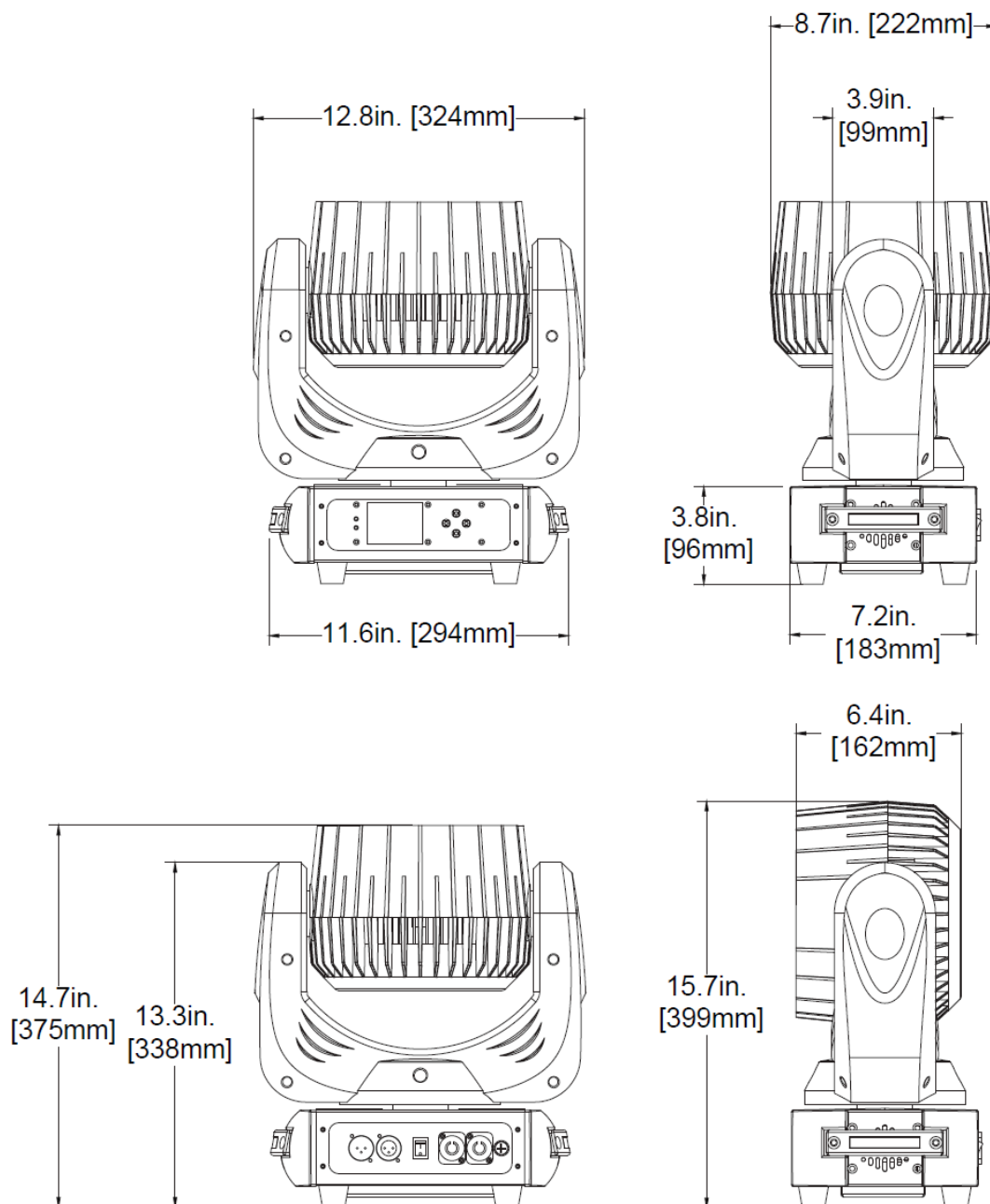
- ・ 動作環境: 屋内 5° F ~ 104° F (-15° ~ 40°C)
- ・ ファン冷却
- ・ 外装: 複合プラスチック

ローディングケース (別売):

- ・ DRC MH (2台収納可能)
- ・ QRC HM (4台収納可能)

仕様は予告なく変更される場合があります。

寸法図



ELIMINATOR[®]
LIGHTING